



ネコ専用無料 SNS アプリ “NYAINE (にゃいん)” 誕生!



ネコ専用の無料 SNS アプリ「NYAINE (にゃいん)」が今、巷のネコたちに大人気となっている。ネコの集會も、最近はオンラインがトレンドらしい…。

京都市下京区、深夜2時。下京図書館の近くに住んでいるペットのネコたちが、飼い主のPCやスマホを使ってオンライン集會を行っている。ちなみに、ここのネコたちは総じて読書率が高く、今日はおすすめの「ネコ本」を紹介し合うらしい。ネコたちのオンライン會話をちょっと覗いてみよう…。

グループ SNS
shimogyo-cats.club
(下京キャッツクラブ)
登録メンバー

- シモキチ (♂)
- ミミ (♀)
- アメコ (♀)
- マシロ (♀)
- ミケ (♂)
- コトラ (♂)

こんばんニャー! みんな集まってるかニャ?
今日はおすすめの「ネコ本」を紹介するニャ〜♪

おばんだニャー! おすすめの「ネコ本」? まかせニャさい! 『猫君』(畠中恵/著, 集英社) は知ってるかニャ? 20年生きた猫の妖・猫又が大活躍の痛快時代小説だにゃ♪ アタイも20年生きて猫又になるにゃ!

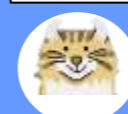


猫又って妖怪だニャ… (苦笑) 時代小説もいいけど、アタシのオススメは短編集だニャ。『ニャンニャンにゃんそろじー』(有川浩/他著, 講談社) が面白かったニャ。いろんな作家の短編が読めてお得だニャ♪

ボンソワ〜♪ フランス生まれの華麗な白猫、アタクシとマシロのオススメは、やっぱり海外小説ですニャ。『夏への扉』(ロバート・A・ハインライン/著, 福島正実/訳, 早川書房) をお読みになって? ニャンと、人語を解する猫のピートが出てくるSF小説でございますニャよ。



ニャッ! 気取っちゃってさ…これだからフランスかぶれは…。ネコ本は小説だけじゃないニャ! おれさまは『ねこの京都』(岩合 光昭/著, クレヴィス) をおすすめするニャ。猫業界ではもはや“レジェンド”! 岩合センセーの写真集だニャ! おれさまの親友が写ってて、チョー羨ましいニャ〜。いつかおれさまの勇姿も撮って欲しいニャ〜♡



ぼくのおすすめも小説じゃニャいけど…みんな、『知りたい! ネコごころ』(高木 佐保/著, 岩波書店) を読んだかニャ? 人間が、様々な実験を通して我々猫族の心理を徹底研究してるんだニャ…猫の心も人間に負けず劣らず複雑ニャのだ!



トリを飾るのはソレガシ、リーダー・シモキチでござる! おすすめは『世界の猫の民話』(日本民話の会 外国民話研究会/編訳, 筑摩書房)。世界には我々が猫族の同胞・ご先祖たちの不思議なお話がたくさんあるのだニャ。



お〜い、下京キャッツクラブの猫諸君!

んニャ? 誰だニャ?



館長のおすすめ



下京図書館長の川浪でーす! 私も紹介したい本があるんだよ。飼い主に必ずすすめてくれ! もちろんキャッツクラブの面々にもぜひ読んで欲しい。

『サイエンスコナン 元素の不思議』 青山 剛昌/原作 小学館
高校生にもなって今さらコナン? いやいや、名探偵コナンを侮ってはいけない。分かる人には分かる話だが、大学入試の有機化学の問題の中には、まさにコナンに倣い、知識を組み合わせ、論理的に可能性を窄めていき、化合物の正体を解き明かす問題もある。この過程は楽しい! ただし、しっかりと知識を持たないとこの楽しさは味わえない。
今回紹介したのは、シリーズの中の一冊、「元素の不思議」の本。ほかにも10種類ほどのシリーズ本が京都市図書館にあるので、ぜひ、検索してほしい。他にも、満点ゲットシリーズちびまる子ちゃんの〇〇や、ドラえもん〇〇とか。たとえ小・中学生向きであっても、これがおもしろい。定期考査や大学入試対策とかの「見返りの学び」に、アニメキャラクターの力を借りて、「こりゃ、なかなか面白くて味がある」という要素を加えてみるのも良いのでは。



『ドラえもん探検ワールド ネコの不思議』(藤子・F・不二雄/まんが, 小学館) も面白いニャよ。それにしても、下京図書館長、NYAINE に乱入できるとは、タダ者じゃないニャ…。



<To Be Continued…>



まだまだあります！ にゃんにゃん猫本



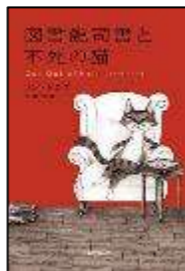
『京都西陣町家に暮らす 16 匹の猫たち』
Cat Apartment Coffee/著 KADOKAWA

築 100 年の京町家・猫カフェ「キャットアパートメントコーヒー」に住む 16 匹の猫たちの写真集。個性派ぞろいの猫たちのマイペースな姿に癒されます。



『図書館司書と不死の猫』
リン・トラス著 玉木 亨/訳 東京創元社

ケンブリッジの図書館を退職した「わたし」に、ある日 1 通の奇妙なメールが届く。添付されていたデータには、人間の言葉を話す猫・ロジャーの驚きの半生がおさめられていた…。ちょっと怖くて不思議なストーリー。



『ボブという名のストリート・キャット』
ジェームズ・ポーエン/著 服部 京子/訳 辰巳出版

ホームレスで薬物中毒、路上での即興演奏で日銭を稼ぐジェームズ。人生のどん底にいた彼の前に、1 匹の野良猫が現れて…。映画にもなった、ジェームズと野良猫ボブの深い絆を描いた感動実話。



『悲しみの底で猫が教えてくれた大切なこと』
瀧森 古都/著 SBクリエイティブ

野良猫の保護活動をする常連客がパチンコ店に置いた「里親探しノート」をきっかけに、店員や客たちが過去と向き合い、生きる意味を考えることに…。猫と人との心温まるストーリー。



『天邪鬼な皇子と唐の黒猫』
渡辺 仙州/著 ポプラ社

時は平安時代。中国からやってきた黒猫・クロの面倒をみるようになった猫好きではない皇子・定省（さだみ）。「自由にぐうたら寝て過ごす」がモットーのクロと真面目な性格の定省の絶妙な掛け合いに、宮廷の陰謀も絡めた王朝物語。



『かのこちゃんとマドレーヌ夫人』
万城目 学/著 KADOKAWA

小学生 1 年生の女の子・かのこちゃんと、飼い猫のマドレーヌ夫人を軸に繰り広げられる様々な出来事。出会いや別れ、不思議な体験…。面白くて、切なくて、素敵なお話です。



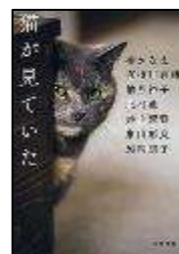
『今泉先生教えて！
一度は猫に聞いてみたい 100 のこと』
今泉 忠明/著 宝島社

猫に関する様々な 100 の疑問を、『ざんねんないきもの図鑑』でおなじみの今泉忠明氏がわかりやすく回答。これを読めば猫博士になれるかも。



『猫が見ていた』
湊 かなえ/他著 文藝春秋

湊かなえ、有栖川有栖など人気作家 7 名による、「猫」をテーマとした短編集。巻末には「オールタイム猫小説傑作選」も収録されていて、より一層「にゃんにゃん猫本」の世界が広がります。



『シリアで猫を救う』
アラール・アルジャリール/著 大塚 敦子/訳 講談社

戦時下のシリア。ミニバンを改造した救急車で負傷者の救助や、住民が避難したあとに取り残された猫たちの保護に身を捧げる電気技師アラール・アルジャリール。過酷な状況で命がけの活動を続ける彼の姿に心を打たれます。



『本を守ろうとする猫の話』
夏川 草介/著 小学館

古書店を営む祖父を突然亡くした高校生・夏木林太郎。店を閉めて叔母と暮らすことになった林太郎の前に、人間の言葉を話すトラネコのトラが現れる。トラは林太郎に「閉じ込められた本を救い出すために協力して欲しい」と言うが…。林太郎は本を救い出すことができるのか？



『旅猫リポート』
有川 浩/著 文藝春秋

サトルと飼い猫のナナ。一人と一匹は、銀色のワゴンで旅にでる。それは彼らにとって、最初で最後の旅だった…。映画化もされた、涙なしには読めない感動作。



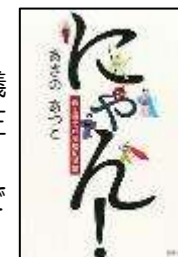
『警備員さんと猫
尾道市立美術館の猫』
にごたろ/著 KADOKAWA

SNS でも話題になった、美術館に入ろうとする猫 2 匹と警備員さんとの心温まる攻防を書籍化。漫画家・にごたろによるほのほのとしたタッチの漫画と写真が満載。



『にゃん！ 鈴江藩江戸屋敷見聞帳』
あさの あつこ/著 白泉社

商家の娘・お糸は、鈴江藩三万石伊集山城守長義の正室・珠子に仕えることになった。実は珠子の正体は、「猫族なんだけどちょいと不思議な一族」で、珠子を亡き者にしようとする陰謀が密かに進んでいた…。お糸は珠子を守ることができるのか？ テンション高めな痛快時代小説。



『世界から猫が消えたなら』
川村 元気/著 小学館

キャベツという名前の猫と暮らしている「僕」。ある日突然、脳腫瘍で余命わずかだと宣告された彼の前に、自分と同じ姿をした「悪魔」が現れ、「世界から何かを消す代わりに一日だけ寿命を延ばす」ことを持ち掛けられるが…。生きることの意味について考えさせられる感動作。



下京図書館

〈住所〉〒600-8449 京都市下京区新町通松原下る富永町 110-1
(最寄駅：地下鉄「五条」市バス「五条西洞院」)
〈開館時間〉平日：午前 9 時 30 分～午後 7 時 (当面の間)
土・日曜日・祝日：午前 9 時 30 分～午後 5 時
〈休館日〉火曜日 (火曜が祝日の場合は翌平日)

貸出中の本もあります。予約できますので、
詳しくはカウンターの職員に聞いてくださいね！

